

## 令和5年度大河原町議会報告会による 要望について（回答）

### （総務課）

1. 災害等では隣接町など広域連携で情報を共有するべきではないか。生活圏を広域で考えていかないと今後は厳しいのではないか。

#### 【回答】

防災分野における広域的連携については、国土交通省仙台河川国道事務所が中心となり、「名取川・阿武隈川下流等流域治水協議会」や「尾袋川・小田川流域水害対策準備会」が開催され、流域自治体との情報共有を図っております。

また、県事業ではありますが、柴田町と共同で「宮城県防災指導員養成講習・宮城県防災指導員フォローアップ講習」を開催しており、地域防災力の向上を図っております。

2. 選挙の投票率が依然として低い。政治的無関心が危機的状況と感じる。再来年の町議選に向けて、議会主導で町当局と一緒に、投票率向上の議論をする場を提起してはどうか。例えば、投票に行った場合の特典の付加、例えば投票済みの証の発行をして、提示することで、パークゴルフのプレイ費が無料になるとか、小中学生同伴で投票に行った場合選挙割の優遇措置を行うとか（主権者教育の観点）議会の一般質問答弁の中で常時啓発事業の在り方研究会が設置されており、その中で検討していくとありましたが2年経っていますが、選管から何か具体的に見える形で答弁等ありましたか。

#### 【回答】

投票率の低下につきましては、その時々社会情勢や政治課題、有権者の意識など、様々な要因が考えられます。特に19歳及び20代の若い世代に於いて、投票率が低い状況となっております。このことは、本町だけでなく、県内の他自治体でも同様の傾向にあり、若者層の投票率の向上は重要な課題であると認識しております。

選挙は、民主主義の根幹であり、多くの有権者の意思が反映されるべきであるため、投票率の低下は大変残念であり、深く憂慮しているところであります。

投票率向上の例としてご提案にあった「選挙割」につきましては、先の「岩沼市長選」並びにご案内の「宮城県議会議員一般選挙」等において、商店街や青年会議所・学生等が中心となり行われており、民間が行う集客と選挙啓発を兼ね備えた取り組みであります。利益誘導や投票の自由を妨げる可能性もありますことから、選挙管理委員が直接関わることは難しいものと捉えているものです。本町におきましても、地域住民の機運の盛り上がりから、こうした取り組みが行わ

れるのを期待するものです。

一方、本委員会では、各種選挙が公明かつ適正に行われるための普及啓発事業を実施する「大河原町明るい選挙推進協議会」が設置されております。教育、文化体育、商工観光及び成年会、婦人会等の関係団体の関係者の中から委員を委嘱し、選挙啓発について協議がなされている者です。「選挙割」の他ご提案いただきました取り組みにつきましても、この中で協議してまいりたいと考えております。

今後におきましても、投票率の向上につながる効果的な選挙啓発活動を推進してまいりますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

3. ハザードマップからみて、白石川はどのくらいの雨量で氾濫するのか。また、白石川の河川敷をかさ上げして造成したことで、より氾濫の危険が増すのではないか。あのハザードマップは誰が決めたのか。

【回答】

白石川洪水に関するハザードマップについては、平成 29 年 5 月に宮城県が作成した「想定最大規模の浸水想定区域図」を資料として作成しているものでございます。この浸水想定区域図では、白石川流域において2日間に総雨量 465.7mm の降雨に伴う洪水により白石川が氾濫した場合の浸水の状況をシュミレーションにより予測したものとなっております。

また、白石川右岸河川敷の整備ではかさ上げ造成は行っておらず、支障木の伐採等を行っていることから、氾濫の危険は増加しないものと考えております。

(町民生活課)

4. 空き家問題について、町として今後どのように考えているのか。

【回答】

空き家等の管理につきましては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」により、所有者等は周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう適切な管理に努めることとなっております。適切な管理を行っていただくために、チラシやパンフレットを配布するなど所有者等へ今後も継続して周知を行ってまいります。なお、様々な事情から自らの空き家等の管理を十分に行う事が出来ない等、その管理責任を果たすことができない場合、多岐にわたる課題に対応するため庁内所管課で連携し相談等、対応してまいりたいと考えております。

(地域整備課)

5. 中島踏切近辺の線路わきの雑草について、枯草の状態では火災の発生がないか心配である。JRの敷地であり、JRに何とかしてもらいたいと思っているが、何とかならないか。

【回答】

要望にありますとおり、線路敷地内はJRの管理となります。これまでも行政区等から線路敷

地内の除草の要望があった時は、JRに連絡をして対応していただいているところです。町では、同様の対応しかできませんのでご理解をお願いいたします。

6. 町長は白石川右岸整備事業については、これまで何度も様々な場面、広報物によって町民に知らせてきたと言っているが、まだまだ多くの町民がこの問題を知らない人が多い。収支計画も含めた広報物をもう一度配布する必要があるのでは。

【回答】

白石川右岸河川敷等整備事業は、順次整備を進めており、堤防天端のサイクリング・ウォーキングロードや堤外地（川側）のMTBパーク、パークゴルフ場、ドッグランなど整備が完了した施設から使用を開始しているところです。

現在、堤内地（田んぼ側）に整備を計画している賑わい交流拠点施設を含めた施設全体について、民間活力の導入を見据えた事業手法や管理運営方法の調査を実施し、施設整備費や維持管理費の検討をおこなっているところです。引き続き、事業の推進を図りながら、機会を捉えて情報の発信を行ってまいります。

7. 旧4号線の法務局から菓匠三全までの区間に街灯が無く、防災上も問題があるので設置して欲しい。

【回答】

街灯（防犯灯）の設置につきましては、行政区等からの要望を受け、周辺の設置状況や設置可能な場所（主に電力柱）等を確認し設置を行っているところです。要望がありました路線は県道となりますので、宮城県大河原土木事務所と相談しながら、計画的な設置を検討してまいります。

8. 公園に多くの人が集まり利用すること子供達が安心して遊べる公園にしたい。公園の草刈りを行政区では、年3回業者に委託している。本当に3回で良いのか。

高砂公園を地区住民で年2回草刈りをしているが、公園の一部に花壇があり、その花壇の中はシルバー人材のひとが草を刈ったりしている。なぜ、公園全体の草刈りができないのか。

【回答】

現在、公園の草刈り等の維持管理につきましては、行政区等の各種団体に公園サポーターとしてご協力いただき、環境整備を行っています。公園利用者及び地域の環境衛生に支障が無いよう、年間（実際はくさが伸びる5～11月頃）5回以上の維持管理活動をお願いしているところです。

昨年は、猛暑の影響か草の成長も早く、高砂公園においては、広場の草刈りを公園サポーターに実施していただき、公園の外周の草刈りを町で実施しました。シルバー人材センターには、トイレと園内の清掃を委託しておりますが、花壇を含め草刈り等の委託はしておりません。

今後も公園の維持管理は、公園サポーターのご協力をいただきながら実施していきたいと考えております。

9. 荒川の工事を県で行っている。町はどのように把握しているか。荒川の堤防が崩れている。のり面部分のかさ上げなどしないのか。確認してほしい。

【回答】

荒川につきましては、宮城県大河原土木事務所及び近隣の町並びに関係団体において、上流の村田町内で合流する新川とあわせて水害を軽減させる治水対策の検討をしています。令和5年度の町内での工事は、村田町境から巻橋までの堤防を強化する天端舗装及び白石川合流地点の支障木伐採が施行されました。終節（川道堀削）につきましては、流域全体を見据えて県で計画的に実施しておりますが、町としても継続して実施するように要望しているところです。

なお、堤防が崩れている箇所や法面の嵩上げの予定はないと聞いております。

10. 薪ストーブを採用している家庭が見受けられるが、雑木の伐採を許可して燃料として使ってもらおうと、お金をかけて整備するより良いかと思うがどうか。

【回答】

白石川の雑木の要望とうけとめて回答いたしますが、白石川の河川管理者は宮城県となります。県では河川の支障木伐採を行った際に、伐採木の無償提供を実施することがあります。この取り組みは、伐採木の有効活用、更には処分費の軽減に繋がりますので、薪に使用する伐採木が必要な方は、大河原土木事務所のホームページを閲覧するか、直接事務所にお問い合わせください。